

公益財団法人 三井住友海上福祉財団

平成22年度（自：平成22年4月1日 至：平成23年3月31日）

事業報告書

I 事業

1. 概要
2. 事業実績
3. 当年度の主な事業
4. 研究助成および財団賞の贈呈式開催

II 理事会・評議員会

1. 理事会

- | | |
|-----------|-------|
| (1) 第119回 | 理事会開催 |
| (2) 第120回 | 理事会開催 |
| (3) 第121回 | 理事会開催 |

2. 評議員会

- | | |
|---------|--------|
| (1) 第2回 | 評議員会開催 |
| (2) 第3回 | 評議員会開催 |

III その他

1. 内部統制に関する諸規程の整備
2. 年次報告書の発行

<別紙> 事業一覧

公益財団法人 三井住友海上福祉財団
平成22年度（自：平成22年4月1日 至：平成23年3月31日）
事業報告書

I. 事業

1. 概要

当年度は、繰越金の減少等に伴い事業規模を縮小した結果、事業費総額は、4,741万円となったが、引き続き着実な事業活動を行うことができた。

当財団の事業は「交通安全等」と「高齢者福祉」を2本の柱としているが、助成事業付帯費758万円を除く助成金の分野別内訳は、交通安全等が1,211万円、高齢者福祉が2,772万円となった。

なお、当財団が昭和50年に発足以来の助成金の累計総金額は20億5,373万円、累計総件数は1,686件となっている。

2. 事業実績

当年度の事業分野別、事業種類別の助成件数、助成金額は次のとおり。

(1) 交通安全等関係

	助成件数	助成金額
研究	15件	947万円
著作・論文表彰	1	30
普及・啓発	5	234
助成金計	21	1,211

(2) 高齢者福祉関係

	助成件数	助成金額
研究	25件	2,542万円
著作・論文表彰	1	30
施設・事業	2	200
助成金計	28	2,772

(3) 事業費合計（交通安全等＋高齢者福祉）

	助成件数	助成額
研究	40件	3,489万円
著作・論文表彰	2	60
普及・啓発	5	234
施設・事業	2	200
助成金計	49	3,983
付帯費計		758
事業費合計（助成金＋付帯費）		4,741

3. 当年度の主な事業

当年度における助成内容、助成先および助成金額は別紙「事業一覧」のとおり。

(1) 研究助成

当財団の助成事業の中心は研究助成であるが、当年度についても合計40件、総額3,489万円の研究助成を行った。これは、助成金総額の87.6%を占めている。

①国内研究助成

a. 応募と決定の件数

研究助成の応募件数、要望金額ならびに決定件数、決定金額は次のとおりであった。

	応募件数	要望金額	決定件数	決定金額
交通安全等関係	43件	6,048万円	10件	770万円
高齢者福祉関係	134	20,165	22	2,400
合計	177	26,213	32	3,170

b. 募集、選考および決定の状況

当年度は、平成22年4月1日から6月30日の期間で募集を行った。募集にあたっては、できるだけ広くから多数の応募を受けられるよう、「応募要項」を当財団のホームページに、また「応募要項要旨」を助成財団センター発行の『助成金応募ガイド』、大学病院情報ネットワーク（略称UMIN）のホームページほかの媒体に掲載するなど、周知に努めた。その結果、合計177件と多くの応募が寄せられた。

選考委員会を、交通安全等は9月17日に、高齢者福祉は9月24日にそれぞれ開催し、交通安全等については10件770万円、高齢者福祉については22件2,400万円を同委員会で選定したうえで、10月28日開催の理事会に諮り、助成を決定した。

当年度も、幅広いテーマから水準の高い研究を選ぶことができた。

選考委員

交通安全等	長江 啓泰（委員長）	日本大学名誉教授	車両工学
	鈴木 春男	千葉大学名誉教授	交通社会学
	関野 宏明	聖マリアンナ医科大学名誉教授	脳神経外科
	太田 博雄	東北工業大学教授	交通心理学
	高田 邦道	日本大学特任教授	交通工学
高齢者福祉	伊藤 久雄（委員長）	東京医科大学顧問・名誉教授	内科学
	大内 尉義	東京大学大学院教授	加齢医学
	大泉 博子	衆議院議員	ソーシャル・ヒス
	児玉 桂子	日本社会事業大学大学院特任教授	福祉生活環境学
	島崎 謙治	政策研究大学院大学教授	社会保障法

永年にわたり当財団に多大な、ご支援を賜りました伊藤 久雄氏が、平成22年11月27日ご逝去されました。心より哀悼の意を表します。

c. 研究結果の開示

2008年度に助成した研究を中心に、合計43件の研究結果を収録した「研究結果報告書集 第14巻」(A4判 178頁)を7月に刊行した。さらに、研究者等の便宜を図るため、同書の内容を当財団のホームページに掲載した。このほか国立情報学研究所の「学術研究データベース・リポジトリ(NII-DBR)」にも各研究結果報告書の要約を登録、公開した。

なお、これまでに当財団が助成決定した研究課題のリスト(助成研究課題、助成対象者および助成金額)は、当財団のホームページでの公開のほか、助成財団センターのホームページ「民間助成金ガイド」にも登録、公開を行った。

②海外研究助成

海外研究助成は平成19年度に東南アジアを対象地域として開始したが、当年度は前年度と同様シンガポールとタイにおいて実施した。国内に準じた方法で募集・選考を行い、交通安全等5件、高齢者福祉3件、計8件、総額319万円の研究助成を行った。

(2)「2010年度三井住友海上福祉財団賞」－著作・論文表彰－

交通安全等と高齢者福祉の分野で、優れた著作・論文を表彰する「2010年度三井住友海上福祉財団賞」の募集を行った。

募集対象期間 平成20年4月から同22年3月の2年間に発表された研究
募集方法 自薦および他薦
応募期間 平成22年4月から6月末まで

選考委員会は、前記の研究助成の選考委員会メンバーにて同日開催し、下記の論文を選定した後、10月28日開催の理事会において、授賞と副賞各30万円の贈呈を決定した。

交通安全等

<論文1点>

・桂 誠一郎 慶応義塾大学理工学部 専任講師

「ハプトグラフとモード分解制御に基づくロボットの触覚発見」

高齢者福祉

<論文1点>

・大西 次郎 武庫川女子大学文学部 教授

「特別養護老人ホームにおける看取り介護加算算定の動向と看取りの実態－経営面、職員育成面、入居者・家族の満足面に関する施設長調査－」

(3) 普及・啓発

当年度も、内閣府が主催する春・秋の全国交通安全運動に協賛して同運動用のポスターを寄贈したほか、交通安全フォーラム開催への協賛、交通安全母親活動特別賞授賞など、5件、234万円の助成を実施した。

(4) 施設・事業助成

デイサービス利用者等の送迎用車両購入費用の補助として、2施設200万円の助成を行った。

4. 研究助成および財団賞の贈呈式開催

国内での贈呈式は、11月17日(水)六本木・住友会館において、研究者の他来賓など約70名の参加を得て、「2010年度研究助成」および「2010年度三井住友海上福祉財団賞」の贈呈式を開催した。

交通安全等については長江啓泰選考委員長から、高齢者福祉については伊藤久雄選考委員長(代読)から講評が行われた後、小野田隆理事長から受賞者および助成対象者に目録が贈呈された。引き続き、財団賞受賞2名の記念講演が行われた。

(交通安全等部門) 桂 誠一郎 慶応義塾大学理工学部 専任講師
「ハプティクスがもたらす安全・安心社会」

(高齢者福祉部門) 大西 次郎 武庫川女子大学文学部 教授
「特別養護老人ホームにおける看取り介護加算算定の動向と看取りの実態－経営面、職員育成面、入居者・家族の満足面に関する施設長調査－」

海外研究助成の贈呈式は、平成23年1月12日にシンガポール、13日にタイのバンコクで開催した。

II. 理事会・評議員会

1. 理事会

○第119回理事会 平成22年6月3日開催

- 第1号議案 平成21年度事業報告および決算、並びに行政庁への定期提出書類承認の件
- 第2号議案 行政庁への追加提出書類承認の件
- 第3号議案 第2回評議員会(定時)の招集承認の件
- 第4号議案 平成22年度第1回助成事業承認の件

○第120回理事会 平成22年10月28日開催

- 第1号議案 平成22年度第2回助成事業承認の件
- 第2号議案 平成22年度研究助成事業承認の件
- 第3号議案 平成22年度財団賞授賞承認の件
- 第4号議案 内部統制に関する諸規程の一部変更承認の件

第5号議案 第3回評議員会（臨時）の招集承認の件

- 第121回理事会 平成23年3月17日開催
 - 第1号議案 平成22年度第3回助成事業承認の件
 - 第2号議案 平成23年度事業計画及び平成23年度予算承認の件

2. 評議員会

- 第2回評議員会 平成22年6月17日開催
 - 第1号議案 平成21年度事業報告および決算承認の件
 - 第2号議案 行政庁への追加提出書類承認の件
 - 第3号議案 理事選任の件

- 第3回評議員会 平成23年3月17日開催
 - 第1号議案 評議員選任の件
 - 第2号議案 理事選任の件
 - 第3号議案 常勤理事の平成23年度報酬承認の件

Ⅲ. その他

1. 内部統制に関する諸規程の整備

内部統制に関する次の諸規程について、公益財団法人への移行に伴う財団名称の変更とともに、新公益法人制度及び関連法規に沿った内容への変更を加え、その整備を行った。

- ・職務権限規程
- ・文書保存規程
- ・個人情報管理規程
- ・情報公開規程
- ・財団印章取扱規程
- ・経理規程
- ・資産運用規程

2. 年次報告書の発行

年次報告書「一年のあゆみ－2009年度年報」を平成22年7月に発行した。

公益財団法人 三井住友海上福祉財団

事業一覧

(1) 交通安全等

①研究助成

a. 国内

No.	研究代表者	研究課題	助成金額 (万円)
1	大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 准教授 飯田 克弘	高速道路の情報板における図形表示のガイドライン 策定にむけた基礎的研究	75
2	独立行政法人産業技術総合 研究所 研究グループ長 岩木 直	簡便な日常的疲労計測技術を用いた安全運転のため の疲労管理システムの開発	80
3	(財)日本自動車研究所 安全研究部 研究員 大谷 亮	役割演技法を用いた交通安全教育による児童の自己 評価スキルの変化と行動変容に関する研究	100
4	高田短期大学 子ども学科 助教 小池 はるか	ルールと罰則の適切なバランスに関する検討 -後 部ベルト義務化を事例とした検討-	55
5	東京都健康長寿医療センター 研究所 非常勤研究員 桜井 良太	高齢者は安全かつ正確に道路を横断できるか? -自 己身体能力認識と速度知覚からの行動科学的検討-	70
6	近畿大学工学部 機械工学科 准教授 樹野 淳也	ブレーキ灯の仕様が後方車両のドライバへ及ぼす影 響に関する研究	70
7	滋賀医科大学医学部解剖学 講座 生体機能形態学部門 助教 松田 和郎	外傷後遷延性意識障害者の慢性期実態調査と神経 学的・神経放射線学的診断による病態解明	100
8	千葉工業大学工学部 建築都市環境学科 准教授 望月 悦子	高速道路運転時の光色変化が視認性に与える影響	70
9	立正大学 心理学部 専任講師 山村 豊	高齢ドライバーの軽度認知障害アセスメントの試作	100
10	芝浦工業大学工学部 機械機能工学科 准教授 山本 創太	粒子法シミュレーションの臓器傷害解析への適用の 検討	50

b. 海外

11	ナンヤン工科大学 准教授 Wong Yiik Diew	Mobility of visually-handicapped pedestrians - crossing behaviour and assistive design/technologies at signalised pedestrian crossing 視覚障害のある歩行者のモビリティ - 信号機のある 交差点での横断行動とそれをアシストするデザイン とテクノロジー	50
12	チュラロンコン大学 工学部 土木工学科 助教授 Kasem Choocharukul	An Experimental Analysis of Factors Affecting Nighttime Visibility of Traffic Signs 交通標識の夜間の視認性に影響する要素の実験分 析	31
13	チュラロンコン大学 工学部 土木工学科 助教授 Jittichai Rudjanakanoknad	Road Safety Score in Thailand:What It Means for Engineers, Drivers, and Actual Accident Rates タイの道路安全スコア:エンジニア、ドライバー、およ び実際の事故発生率にもつ意味	32
14	マヒドン大学 子供と家族の発展のための国立 研究所 講師 Wimontip Musikaphan	Senior citizens: What they really need for public mass transportation 高齢者:彼らが公共交通機関に真に求めていること	32
15	マヒドン大学 国際校 学部長補佐 Udomrat Tivasub	Risk Behaviours and Attitudes of Truck Drivers toward Road Safety トラックドライバーの道路交通安全に背く危険な行動・ 態度	32

研究助成 小計 15件 947万円

②著作・論文表彰

No.	著者	題名	副賞 (万円)
1	慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 専任講師 桂 誠一郎	ハプトグラフとモード分解制御に基づくロボットの触覚 発現	30

著作・論文表彰 小計 1件 30万円

③普及・啓発

No.	助成先	助成内容	助成金額 (万円)
1	(社)日本交通福祉協会	「交通安全ファミリー作文コンクール」募集ポスター作成費用	95
2	内閣府(共生社会政策担当)	「秋の全国交通安全運動」ポスター作成配付費用	9
3	交通安全シンポジウム推進協議会	「平成22年度交通安全フォーラム」協賛	25
4	(社)全国交通安全母の会連合会	「三井住友海上福祉財団特別賞」授賞	100
5	内閣府(共生社会政策担当)	「春の全国交通安全運動」ポスター作成配付費用	5

普及・啓発 小計 5件 234万円

交通安全等 合計 21件 1,211万円

(2)高齢者福祉

①研究助成

a.国内

No.	研究代表者	研究課題	助成金額 (万円)
1	東邦大学医療センター 佐倉病院 講師 青木 保親	高齢者腰痛に対する保存的治療法(神経ブロック療法、運動療法)の治療効果検証および治療法選択指針の確立に関する研究	50
2	大阪府立大学 看護学部 准教授 和泉 京子	社会経済格差による健康格差をふまえた国民健康保険加入者の壮年期から高齢期までの継続的な支援方略の開発	100
3	東北大学大学院 環境科学研究科 助教 伊野 浩介	在宅医療に向けた検査用小型チップデバイスの開発	100
4	東京都健康長寿医療センター 研究所 主任研究員 内田 洋子	アルツハイマー病早期診断のための髄液バイオマーカーの開発	100
5	岩国短期大学 身体運動制御研究室 専任講師 王 芸	高齢者の随意的姿勢コントロール機能の解明とトレーニングプログラム開発研究:転倒予防の視点から	80
6	東京大学大学院 医学系研究科加齢医学講座 医員 大田 秀隆	高齢者認知症評価測定マーカーの検索ー長寿遺伝子Sirt1を中心にー	140
7	奈良県立医科大学 医学部住居医学講座 助教 大林 賢史	高齢者の光住環境がメラトニン分泌および夜間睡眠・血圧変動に及ぼす影響に関する横断研究	140
8	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 分子ニューロイメージング 独立准教授 岸 将史	タウオパチーの早期診断を可能にする新規PETプローブの開発	130
9	東京大学大学院 総合文化研究科(身体運動) 助教 久保 啓太郎	ヒト生体における腱組織の加齢現象に対する運動および遺伝子多型の影響	110

No.	研究代表者	研究課題	助成金額 (万円)
10	宮崎大学医学部解剖学講座 分子細胞生物学分野 助教 齋藤 敦	骨系統疾患の新規治療戦略の開発	120
11	京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教室 研究生 関谷 徹治	再生医学的アプローチ(細胞移植)による老人性難聴の克服	110
12	台湾国立雲林科技大学 建築及室内設計学科 准教授 曾 思 瑜	台湾の高齢者施設に適した「認知症高齢者への環境支援指針PEAPに基づく環境改善手法」の開発に向けた実践的研究	90
13	国立病院機構東京医療センター 臨床研究(感覚器)センター 分子細胞生物学研究部 研究員 高田 雄一郎	高齢者視覚障害疾患、加齢黄斑変性の発病機序における疾患感受性遺伝子ARMS2の役割	110
14	東洋大学 法学部 准教授 太矢 一彦	リバースモーゲージの立法的提言に向けてーピアジェとの比較における実態調査研究ー	45
15	独立行政法人国立病院機構 東京病院 臨床研究部 副部長 寺本 信嗣	長寿社会の新肺炎、医療ケア関連肺炎(Health-care-associated pneumonia, HCAP)の実態と至適療法の開発	140
16	千葉大学医学部附属病院 整形外科 医員 中村 順一	高齢者における変形性股関節症の疼痛機序の解明と創薬への応用	140
17	名古屋市立大学大学院 薬学研究科分子生物薬学分野 講師 西塚 誠	脂肪細胞ならびに骨細胞分化を制御する遺伝子fad104に着目した肥満および骨粗鬆症治療薬開発のための基礎研究	110
18	慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 医療マネジメント専修 大学院生 早川 三津子	高齢者施設における契約能力に問題がある入所者の代理契約の実態とあり方の検討	80
19	岐阜大学大学院医学系研究科 神経内科・老年学分野 助教 林 祐一	運動療法によるβアミロイド凝集抑制効果の分子メカニズムの解明と認知症予防法への応用	140
20	京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師 平野 滋	高齢者の声帯萎縮に対する再生医療の確立	125
21	京都大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科 助教 三浦 晶子	脱落乳歯由来歯髄幹細胞の細胞生物学的解析を応用した新たな骨粗鬆症治療法の開発	140
22	京都大学大学院医学研究科 歯科口腔外科 助教 家森 正志	高齢者の個々人の咀嚼能力に応じた食生活・栄養改善による生活習慣病予防のための疫学的研究	100

b.海外

23	シンガポール国立大学 准教授 Tan Kok Kiong	Development of e-Guardian for the single elderly or the chronically-ill patients 独り暮らし高齢者あるいは慢性疾患患者をガードする電子機器(e-Guardian)の開発	45
24	シンガポール国立大学 外科 助教 Ho Pei, Jackie	Anatomical analysis of Acute Aortic Dissection in Elderly using Computed Tomography post-processing measurement CTスキャン断層写真による予後測定を使った高齢者の急性大動脈解離の解剖学上の分析	47
25	シンガポール国立大学 リー・クアンユウ公共政策学校 大学院生 Ng Tze Lin Tania	Enhancing Cooperation and Sustaining Long-term Collective Action in Elderly Community Programs 老人活動クラブにおける協調関係の向上と集団活動の長期的持続	50

研究助成 小計 25件 2,542万円

②著作・論文表彰

No.	著者	題名	副賞 (万円)
1	武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科 教授 大西 次郎	特別養護老人ホームにおける看取り介護加算算定の 動向と看取りの実態 一経営面、職員育成面、入居 者・家族の満足面に関する施設長調査一	30

著作・論文表彰 小計 1件 30万円

③施設・事業助成

No.	助成先	助成内容	助成金額 (万円)
1	社会福祉法人 音羽会	「介護自動車」購入費用(弘前市)	100
2	社会福祉法人 至福会	「介護自動車」購入費用(鹿嶋市)	100

施設・事業助成 小計 2件 200万円

高齢者福祉 合計 28件 2,772万円

合計(交通安全等・高齢者福祉) 49件 3,983万円